| 学校番号 | ３０１３ |
|---|---|

令和３年度　情報科

| 教科 | 情報 | 科目 | 社会と情報 | 単位数 | １単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「最新 社会と情報」（実教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 「五訂版 これだけ！ 著作権と情報倫理」（数研出版） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的で体験的な活動を通して、コンピュータや各種ソフトウェアについて学び、それらについての理解を深めてよりよい使い方を考えていきましょう。
・コンピュータやインターネットなどを利用した統計的処理や発表活動を行い、物事を理論的で実証的に考え、友だちの意見や考え方を学び、自分が調べた探究をみんなに発表しましょう。

2　学習の到達目標

・日常のさまざまな数値を統計的に扱えるように、表計算ソフトを活用できる。
・レポートや用途に合わせた資料作成ができる。
・コンピュータなどの情報通信技術について理解し、また利用し、発展的に活用できる。
・プレゼンテーションソフトを利用して、自らの意見をまとめて発表することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断・表現 | c:技能 | d:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 情報や情報社会に関心をもち，身のまわりの問題を解決するために，自ら進んで情報及び情報技術を活用し，社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。 | 情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために，情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて，思考を深め，適切に判断し表現している。 | 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け，目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。 | 情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け，社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。 |
| 評価方法 | 学習状況の観察<br>ワークシートの記述<br>課題作品など | 学習状況の観察<br>発表<br>レポートなど | 学習状況の観察<br>実技試験の結果<br>発表<br>課題作品など | 学習状況の観察<br>実技試験の結果<br>レポートなど |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 前期 | 表計算ソフトの利用・資料作成 | ○表計算ソフトについて<br>○データの入力<br>○関数の利用<br>○グラフの活用<br>○統計的処理 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | <br><br>○<br>○<br>○ | <br>○<br>○<br>○<br>○ | <br><br>○<br>○<br>○ | a:表計算ソフトのデータ入力やグラフ作成、関数の利用に意欲的に取り組んでいるか。<br>b:目的に応じてわかりやすいグラフで表現できるか。適切に関数を選択して利用できるか。<br>c:表計算ソフトへのデータの入力と抽出ができ，関数の利用やデータの検索などができるか。適切なグラフ表現ができるか。<br>d:グラフの種類や機能についての知識を持ち，適切に利用できるか。また、条件に合わせて関数を選択できる知識があるか。 | 授業観察<br>(a,b,c)<br><br>ワークシート<br>(a,b,d)<br><br>実技課題<br>(a,b,c,d) |
| | | ○用途に合わせた情報発信とその表現について<br>○目的に応じた文書・資料作成 | ○<br>○ | ○<br>○ | <br>○ | ○<br>○ | a:文書作成に意欲的に取り組んでいるか。<br>bc:用途や目的に応じてソフトの機能を選択活用し、適切な表現について考え、判断できるか。<br>c:文書作成ソフトの機能が目的や用途に応じて選択でき活用できるか。<br>d:よりよい情報発信とはなにかを考えるための工夫について理解できているか。 | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 表現の工夫とプレゼンテーションと探究課題 | ○プレゼンテーションの基礎<br>○スライドソフトの活用<br>○各種メディアの利用<br>○探究課題<br>○プレゼンテーション実践 | ○<br>○<br>○<br>○<br>○ | <br>○<br>○<br>○<br>○ | <br>○<br>○<br><br>○ | ○<br>○<br>○<br><br>○ | a：調べる様子や議論の様子はどうか。また、情報伝達しようとする意欲があるか。プレゼンテーションの企画から制作・発表・評価まで積極的か。また、他者への評価を意欲的に行い、他者の評価を元に改善に努めているか。<br>b：目的や対象を明確にして，表現やデザインの工夫があるか、また、参考資料の出典先を明記しているか。プレゼンテーションのテーマは適切で、構成がしっかりしているか。また、適切な改善策や評価の視点をあげているか。<br>c：目的や対象が明確で、図表やグラフを効果的に取り入れることができるか。また、画像，音声，動画などを活用できるか。<br>d：情報を伝達する際の注意事項について理解し、プレゼンテーション制作の流れや段階ごとのポイントを理解しているか。また、多様なメディアを効果的に利用する方法を理解しているか。 | 授業観察<br>(a,b,c)<br><br>レポート<br>(a,b,d)<br><br>課題作品<br>(a,b,c,d)<br><br>発表<br>(a,b,c,d) |

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。